

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回弘前城跡整備指導委員会
開 催 年 月 日	令和5年10月30日（月）
開 始 ・ 終 了 時 刻	10時00分 から 11時25分まで
開 催 場 所	弘前市緑の相談所集会室および弘前城二の丸未申櫓・二の丸東門・三の丸東門
議 長 等 の 氏 名	福井敏隆（前弘前市文化財審議委員長）
出 席 者	関根達人、千田嘉博、瀧本壽史、三上千春
欠 席 者	田中哲雄、麓和善
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	（弘前市都市整備部公園緑地課）公園緑地課長兼弘前城整備活用推進室長・土岐康之、弘前城整備活用推進室主幹・横山幸男、同室総括主査・関剣太郎、同室主査・福井流星、同室主査・石ヶ森沙貴子〔記録〕
会 議 の 議 題	1.二の丸未申櫓 櫓台石垣の現状について〔報告〕 2.重要文化財建造物の整備スケジュール〔報告〕 3.その他〔報告〕
会 議 資 料 の 名 称	①令和5年度第1回弘前城跡整備指導委員会
会 議 内 容 （ 発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等 ）	<p>1. 二の丸未申櫓 櫓台石垣の現状について〔報告〕 （事務局）</p> <p>【概要】</p> <p>（1）二の丸未申櫓台石垣について、経過観察に至る経緯と現状について説明。</p> <p>【詳細】</p> <p>・二の丸未申櫓台石垣の経過観察に至るまでの経緯は、以下のとおり。</p> <p>■令和4年11月、二の丸未申櫓台石垣の南西隅に歪みがあることを確認。昭和31年の保存修理竣工写真には石垣の歪みが認められないことから、雨水等による土塁の土砂流出や地震による変形を原因とし、昭和31年以降に歪んだものと考えられる。</p>

■ 檜台石垣天端および檜 1 階床面の測量調査の結果、現状ではそれぞれで大きな高低差は生じていないと判明。直ちに崩落等が起こる危険性は低いと考えられる。

■ 令和 5 年 2 月、文化庁より下記の指導があった。

① 未申檜西側の土塁下には高校があり、人的被害の出る恐れがあることから、土塁西面でも変位観測を実施し、変位が認められた場合には直ちに文化庁へ報告すること。

② 未申檜の耐震診断を、遅くとも令和 9 年には実施すること。

■ 令和 5 年 3 月 28 日の令和 4 年度第 2 回弘前城跡整備指導委員会で、未申檜台石垣南西隅の空隙を間詰石等で埋め、地震対策とするよう指導があった。

■ 令和 5 年 3 月 31 日、檜台石垣南西隅の空隙に小礫を充填し、クラックゲージとクラックディスクの仮設観測ポイントを設置。同日および翌 4 月に観測を行ったが、変位は認められなかった。

■ 令和 5 年 5 月 1 日、檜台石垣南西隅の南面・西面にクラックゲージを 2 箇所、クラックディスクを 7 箇所、土塁西側法面に観測ポイント 2 箇所を設置。

■ 令和 5 年 8 月、雨水等の地下浸透を防ぐため、檜台下の土塁平場に 3 % の勾配を付けて土嚢を設置し、その上を文化財保護シートで養生。

■ 令和 5 年 5 月・6 月・8 月・10 月の計 4 回、石垣の変異観測を実施。大きな変位は認められない。

■ 令和 5 年 5 月・8 月・10 月の計 3 回、土塁法面の変異観測を実施。大きな変位は認められない。

(委員会)

【概要】

- ・二の丸未申櫓の土塁養生と櫓台石垣の経過観測状況について了承。

【詳細】

- ・櫓台南西隅の天端角石が引っ込み、その北側に接する天端隅脇石が前方に出る状態となっているが、このズレと未申櫓1階西壁に生じているクラックとの関係が気になる。これらの事象がいつ生じたのか、確認すること。また、石工にも現地確認の上、意見をもらうこと。
- ・櫓台石垣天端と櫓1階壁の境界に、水止め板である「腰庇」が付いている。ここに「腰庇」を付けた理由を考えると、櫓台石垣の歪みの原因は、基礎だけではなく上方にもあるのではないか。

2. 重要文化財建造物の整備スケジュール [報告]

(事務局)

【概要】

- (1) 弘前城の重要文化財建造物の整備スケジュールについて、令和4年度第2回委員会からの変更点を説明。

【詳細】

- ・弘前城重要文化財建造物の整備スケジュールについて、前回の委員会からの変更点は以下のとおり。

①二の丸東門・北の郭北門

- 令和5年9月に文化庁の現地指導を受け、整備スケジュールを変更した。

- 二の丸東門・北の郭北門の2棟を、同じタイミングで保

存修理する。令和6年度に実施設計、同7～8年度で保存修理予定。

- 二の丸東門については、現段階で上層屋根の北側に穴があき雨漏りの原因となっているため、保存修理とは別で年内に補修工事を行う。

②三の丸東門

- 三の丸東門は現状で良好な状態であるため、保存修理を先延ばしとする。令和9～10年度に漆喰壁の塗り直しと耐震補強のみを実施予定。

③保存活用計画

- 令和6～7年度に保存活用計画を策定。整備指導委員会に内容を諮る。
- 現状で防災施設が老朽化しているため、保存活用計画の中で防災計画も定め、整備する。

(委員会)

【概要】

(1) 重要文化財建造物の整備スケジュールについて了承。

3.その他 [報告]

(事務局)

【概要】

(1) 史跡整備と重要文化財保存修理に伴う公開活用状況について説明。

【詳細】

・令和5年8月5日(土)・6日(日)に、第2回「弘前城跡の史跡・文化財」見学修理体験会を実施。

■見学・体験メニューと各メニューへの参加者数、各メニューにおける県外参加者の割合は以下のとおり。

①石割体験 [参加者 87名・県外 54%]

②間詰石打込体験と現場説明 [参加者 94名・県外 67%]

③裏込石へのメッセージ記入 [参加者 284名・県外 80%]

④二の丸南門2階（物見）見学 [参加者 1,164名・県外 88%]

以上、総参加者数 1,629名のうち、1,375名（84%）が県外からの参加となった。

・令和5年11月3日（祝）に、第3回「弘前城跡の史跡・文化財」見学修理体験会を実施予定。

■予定している見学・体験メニューは以下のとおり。

①仮組した天守台石垣の見学・解説

②裏込石へのメッセージ記入

③現代工法による石割体験

④石垣修理現場の見学・解説

⑤二の丸南門2階（物見）見学

8月実施の第2回見学修理体験会では、参加者のほとんどが県外からの観光客であったことから、今回は市内在住者にもより多く足を運んでいただけるよう、広報を進めている。

（委員会）

【概要】

（1）史跡整備と重要文化財保存修理に伴う公開活用状況について了承。

	<p>【詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催については、弘前市観光コンベンション協会のホームページにも情報を掲載してほしい。 <p>【結論】</p> <p>(1) 二の丸未申櫓の土塁養生と石垣の経過観測状況について了承。櫓台石垣西面の資料を収集し、歪み等の原因解明に努めること。</p> <p>(2) 重要文化財建造物の整備スケジュールについて了承。</p> <p>(3) 史跡整備・重要文化財保存修理に伴う公開活用状況について了承。</p>
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開、非公開…公開 ・その他出席者 (弘前市教育委員会文化財課) 課長・石岡博之、課長補佐・小石川透、埋蔵文化財係長・蔦川貴祥